

# 歩 掛 関 係

令和2年9月1日以降

# 工事費の積算

## ① 直接工事費

### 1 材料費

材料費は、工事を施工するために必要な材料の費用とし、その算定は次の(1)及び(2)によるものとする。

#### (1) 数量

数量は、標準使用量に運搬、貯蔵及び施工中の損失量を実状に即して加算するものとする。

#### (2) 価格

「一般土木資材単価」の「資材単価」の「資材単価の決定について」(p 総則-1～)を参照。

### 2 諸経費

#### (1) 諸雑費

##### 1) 諸雑費の定義

諸雑費は、雑材料・小器材の費用等について、積算の繁雑さを避けるため率計上するものである。

##### 2) 単価表

(イ) 歩掛表に諸雑費率が記載されているもの

所定の諸雑費率の限度いっぱいを目上する。なお、金額は1円までとし、1円未満は切り捨てる。

(ロ) 歩掛表に諸雑費率が記載されていないもの

諸雑費は計上しない。

##### 3) 内訳書

諸雑費は計上しない。

### 3 端数処理

#### (1) 端数処理

1) 単価表及び内訳書の各構成要素の数量×単価＝金額は1円までとし、1円未満は切り捨てる。

2) 直接工事費計は1,000円単位とし、1,000円未満は切り捨てる。

3) 共通仮設費の各細別ごとの積み上げ金額は1,000円単位とし、1,000円未満は切り捨てる。

4) 共通仮設費の率計上の金額は1,000円単位とし、1,000円未満は切り捨てる。

5) 現場管理費の金額は1,000円単位とし、1,000円未満は切り捨てる。

6) 一般管理費の金額は1,000円単位とし、1,000円未満は切り捨てる。

7) 歩掛における数量の計算結果の端数処理については、各々に定めのある場合を除き、小数第2位止め、小数第3位四捨五入する。ただし、計算結果が0.01未満の場合、小数第3位まで表示する。

8) 間接工事費等の率計算において、対象としない額の合計金額は1,000円単位とし、1,000円未満は切り上げる。(別添1参照)

9) 処分費等諸経費対象外の金額は1,000円単位とし、1,000円未満は切り上げる。

10) 共通仮設費、現場管理費を週休2日補正した率は、下記のとおりとする。

① 算定式により求められる共通仮設費率及び現場管理費率を、それぞれ小数第2位止め、小数第3位四捨五入の端数処理を行う。

② その後、施工地域補正及び週休2日補正を乗じて、再度、小数第2位止め、小数第3位四捨五入の端数処理を行う。

11) スクラップがある場合や現場環境改善費がある場合の計算例は、別添2を参照。

12) 処分費等諸経費対象外の金額の計算例は、別添2を参照。

「スクラップや現場環境改善費がある場合」、「処分費等諸経費対象外の金額」の計算例

△△地区△△工事

内 訳 書						
工種・工区名	名称：規格	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費					13,138,400	
〇〇工		m3	1,000,000	250	250,000	第 1号代征表90-00-C1
■ ■工		m2	10,000	6,354	63,540	第 2号代征表90-00-C2
◇◇工		m	1,000,000	3,469	3,469,000	第 3号代征表90-00-C3
▲▲工		m2	500,000	3,083	1,541,500	第 4号代征表90-00-C4
スクラップ	共×：現×：-×	式	1.000	(-53,500)	(-53,500)	UT0001
As塊 処理費		t	15.000	1,150	17,250	直接工事費内の処分費
直接工事費計					(-53,000)	
(内諸経費対象区分)	共×：現×：-×				5,287,000	
					-53,000	

△△地区△△工事

内 訳 書						
工種・工区名	名称：規格	単位	数量	単価	金額	摘要
(処分費等諸経費対象外)	共×：現×：-×					……処分費等諸経費対象外算定表
準備費 (積上)	スクラップのマイナス単価が戻された金額が対象額になるが、端数処理されて				97,000	
木くず 処理費	+53,000となる。直接工事費内の処分費は端数処理なしで計算する。支給品費は千円未満切り捨て後の金額で計算する。	m3	55,000	4,500	247,500	HT0002
支給品費 (積上)					15,000	支給品費
U字溝	スクラップと直工内の処分費	本	11,000	1,400	15,400	UT0006
現場環境改善費					5,287,000 + 53,000 - 17,250 + 15,000	
共通仮設費 (率分)					5,337,750	94,000
共通仮設費計					5,505,000	12.53×1.3 ×1.04=16.94
純工事費	準備費内の処分費				1,273,000	
	準備費内の処分費は千円未満切り捨て後の金額で計算する。				6,560,000	-44,000

+53,000 - 97,000 = -44,000

スクラップと処分費等諸経費対象外金額を合算した計算結果

別添 2

△△地区△△工事

内 訳 書						
工種・工区名	名称：規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場管理費	6,560,000+15,000-44,000			6,531,000	3,307,000	43.43×1.1 ×1.06=50.64
工事原価					9,867,000	-44,000
一般管理費	9,867,000-44,000			9,823,000	2,077,000	21.11×1.0 +0.04=21.15
工事仕格					11,944,000	
消費税相当額	支給品のU字溝は、一般管理費の対象外である（-×となっている）ため、支給品の15,000円は一般管理費の対象額に計上されない。	%	10.000	11,944,000	1,194,400	
本工事費計					13,138,400	

別添 2

△△地区△△工事

工種・工区名： 処分費等一覧表					
名称：規格	単位	数量	単価	金額	摘要
(直接工事費に計上される処分費等)					
As塊 処理費	式	1,000		17,250	HT0001
処分費等 小計				17,250	
(準備費に計上される処分費等)					
木くず 処理費	式	1,000		247,500	HT0002
処分費等 小計				247,500	準備費内の処分費
処分費等 合計				264,750	処分費等の合計

△△地区△△工事

処分費等諸経費対象外算定表					
名称：規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費等 合計				264,750	・・・A
共通仮設費対象額 + 準備費に含まれる処分費等			$5,287,000 + 53,000 + 15,000 + 247,500$	5,602,500	・・・B
処分費等の占める割合 (A/B)	%		準備費内の処分費	4.73	・・・X
(共通仮設費対象額 + 準備費に含まれる処分費等) × 3%			準備費内の処分費は端数処理なしで計算する。	168,075	・・・C = B × 3% 3000万を超えた場合3000万とする
3%を超えた処分費等の金額 (A-C)			$264,750 - 168,075$	96,675	・・・D
処分費等諸経費対象外金額			処分費等の合計は端数処理なしで計算する。	97,000	処分費等諸経費対象外金額は千円未満を切り上げている。